



◆生育状況については果樹総合情報を参照

◆当面する重点作業について

1. 春季干ばつ対応として、晴天が続く乾くようであれば、定期的なかん水により結実を助ける。
2. 人工受粉を励行し、結実を安定させる。共同開葯所を積極的に活用する。
3. 凍霜害防止対策を万全に取り組む。この時期は、急に寒の戻りがあるので要注意する。

《プルーン・すもも》

◆第2回薬剤散布の実施について

1. 散布時期…開花始め(花が1~2輪咲き始めたら散布) 実際散布日記入 月 日
2. 調合量…水1000 当り

アプローチB I …100ml (展着剤)
 ロブルール水和剤 … 66g (灰星病・灰かび病)

3. 散布量…10a当り3500 以上
4. 留意事項

- ①アブラムシ発生が心配される場合は、ウララDF4,000倍(水 1000 当り25g)を加用散布する。
- ②主幹にヤニが出て胴枯症状が出ていたら削り取り、塗布剤のトップジンMペーストを塗る。

◆プルーンの人工受粉実施について

トレジディ・グランドプライズ・くらしまは、特に実止まりが悪いので必ず人工受粉を行う。

プルーンの交雑和合性 (記号:◎=最良 ○=良好 △=やや良好 ×=不良 —=不明・試験中)

※下記表を参考に、交雑和合性が良く、その年の開花時期が合うもので行う。

[開花時期 ※年により差がある。早い ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 遅い]

受粉樹(品種) 交配が 必要もしくは、 した方が良い品種	シュガー	くらしま	オータムキュート	トレジディ	プレジデント	サマーキュート	アーリーリバー	ベイラー	くらしま早生	サンタス	グランドプライズ	スタンレイ
くらしま	○	×	○	○	—	○	×	○	△	—	×	○
オータムキュート	△	◎	×	○	○	○	—	△	—	—	—	—
トレジディ	○	◎	○	×	○	—	○	△	○	—	△	—
プレジデント	◎	—	—	◎	×	—	◎	△	—	—	○	◎
サマーキュート	◎	◎	—	△	◎	○	—	△	◎	◎	—	—
ベイラー	◎	—	—	◎	○	—	◎	×	—	—	○	○
くらしま早生	○	○	—	○	—	—	○	×	×	—	△	—
サンタス	◎	—	—	—	◎	—	○	×	○	△	—	—
グランドプライズ	○	△	—	○	△	—	◎	△	○	—	×	○

◆すももの人工交配実施について(交配が必要なため必ず実施する)

すももの交配 (記号:◎=最良 ○=やや良 △=結実低い ×=結実なし —=不明)

受粉樹	大石早生	サンタローザ	ソルダム	太陽	紅りょうぜん	エレファントハート	ハリウッド
大石早生	×	◎	◎	◎	—	—	◎
サンタローザ	○	△	◎	◎	—	—	◎
ソルダム	◎	◎	×	◎	—	—	◎
太陽	×	○	×	×	×	○	○
紅りょうぜん	○	◎	○	×	×	—	◎
貴陽	×	×	×	×	×	△	△
秋姫	○	—	×	○	—	—	◎
シナノパール	—	—	×	○	—	—	○

《なし》

◆芽たたき・摘蕾の実施について

- 目的・効果 貯蔵養分の無駄な消費を防ぎ、大玉生産につながるよう実施する。
摘果作業の省力にも役立つので必須。
- 落とす蕾
 - ①主枝・亜主枝・側枝の先端部のえき芽花はすべて摘蕾する。
 - ②短果枝着生のために誘引した2年枝のえき芽花もすべて摘蕾する。
 - ③ラフランスは2～4番花を中心に成らすので番花の遅い花を摘蕾する。

◆第2回薬剤散布について

- 散布日…開花前 実際散布日記入 月 日
- 調合量…水100ℓ 当り
 - 展着剤 … 10ml (展着剤)
 - サムコルフロアブル10 … 20ml (シンクイムシ類・ハマキムシ類)
 - トレノックスフロアブル … 200ml (黒星・黒斑・赤星病)
- 散布量…10a当り 棚栽培300ℓ/立木栽培350ℓ 以上
- 留意事項
 - ①アブラムシの発生が心配される場合は、ウララDF4,000 倍(水 100ℓ 当り 25g)を加用散布する。
 - ②赤星病は雨が多いと感染が多くなるので、開花前後とその後の防除間隔が空かないようにする。
植木で「ビヤクシン」があると感染しやすい。1km位は感染範囲となるので注意する。

◆人工受粉・毛バタキ交配の実施について

- 結実確保と大玉生産を目的に必ず実施する。(交配する花粉を多めに用意する。)
- 日本なしの場合、ヤーリー・松島・豊水が利用できる。(3～4番花を中心に受粉する。)
- 南水は3～4番花を中心に・ラフランスは2～4番花を中心に受粉する。
- 西洋ナシの場合、自家不和合のため自分の花粉では実止まりが悪い。(他の花粉が必要)
- ラ・フランスには和なし(幸水・豊水・二十世紀)やシルバーベルを、その他の品種はラ・フランスの花粉を採集して実施する。開花の順序を見ると基部から開花してきて2～4番目にあたる果実が肥大も良く果形がよいので、2～4番花をねらって受粉を行う。

◆ 溶液受粉について(受粉作業の試行技術・省力化)

1. 「溶液受粉」とは

溶液に溶かした花粉を、柱頭に散布する受粉方法で、受粉作業の省力化を目的としている。

2. 調合量…1ℓ 作成に当り

蒸留水	…	1ℓ	液体増量剤	花粉溶液
粉末寒天	…	1g		
グラニュー糖	…	100g		
純花粉	…	3g		

3. 「液体増量剤」の作成…加熱した蒸留水1ℓに粉末寒天1g・グラニュー糖100gを混ぜる。

4. 室温になった「液体増量剤」に梨の純花粉を混ぜて「花粉溶液」を作る。

「花粉溶液」はよく混濁させる。花粉を入れてから3時間以内に使い切る。

5. 純花粉の用意について

※開葯し乾燥した粗花粉100gから花カスや花糸を取り除いて取れる純花粉は15g程度である。

※純花粉30g(乾燥)を用意するためには脱穀直後の重さで800g程度の粗花粉(生)必要となる。

6. 散布量 10a当り 10ℓ必要になります。(純花粉で30g必要)

市販のハンドスプレーを使用するとよい(蓄圧式のスプレーは花粉に影響がある可能性あり)

《あんず》

◆ 第3回薬剤散布について

1. 散布日…80%落花時

実際散布日記入 月 日

2. 調合量…水100ℓ 当り

展着剤	…	10ml (展着剤)
アンビルフロアブル	…	100ml (灰星病)
ウララD F	…	25g (アブラムシ類)
マイコシールド	…	66g (かいよう病)

3. 散布量…10a当り400ℓ 以上

4. 留意事項

- ① 前回散布との間隔は12日以内を厳守し、花ビラが80%以上落ちたら早めに実施する。生育が平坦部と山手では3～5日のずれがあるので、自園の状況を見て適期に行う。
- ② 花腐れの発生原因の一つに、散布間隔の空き過ぎと散布量不足がある。開花初めの散布からは12日以内にし、散布量は400ℓ以上散布する。特に信州大実には、樹上部までかけムラのないよう注意。
- ③ 昨年、かいよう病の発生が見られなかった園は、マイコシールドに代えてトレノックスフロアブル500倍(水100ℓ 当り 200ml)を使用してもよい。

《うめ》

◆ かいよう病対策の特別薬剤散布について

1. 散布日…展葉初期 (80%落花期)

実際散布日記入 月 日

2. 調合量…水100ℓ 当り

展着剤	…	10ml (展着剤)
マイコシールド	…	66g (かいよう病)

3. 散布量…10a当り400ℓ 以上

4. 留意事項…昨にかいよう病が発生した場合は必ず散布する。

《オウトウ》

◆第2回薬剤散布について

1. 散布日…開花始め 実際散布日 月 日
2. 調合量…水100ℓ 当り
 ┌ 展着剤 …… 10ml (展着剤)
 └ パスワード顆粒水和剤 … 100g (灰星病)
3. 散布量…10a当り400ℓ 以上

◆人工受粉の実施について

主力の佐藤錦は、実止まりが悪いので必ず受粉を行う。

表1.佐藤錦の交雑和合性 (記号:○印=良好 ×印=悪い)

受粉樹(品種)	紅秀峰	高砂	ナポレオン	香夏錦	佐藤錦	正光錦
佐藤錦	○	○	○	○	×	○

◆杏・梅・オウトウ専門部 開花調査研修会開催について

期日	曜	時間	場所
4月4日	火	午後2時	松代総合センター (外で行います)

演題 各品種の病害虫防除について

※懇親会等はいりませんので会費もありません

※各自マスク持参をお願いします。

※引き続き春の管理講習会 (内容については総合情報参照) を行います。

◆果樹試験場の発芽状況 参照

品目	平年	元年	2年	3年	4年	5年	備考
信州大実	4月6日	4月8日	4月1日	3月29日	欠測		
ソルダム	3月30日	4月4日	3月20日	3月20日	3月29日		
川中島白桃	3月30日	3月26日	3月19日	3月22日	4月4日		

《栽培に関する問合せ》

寺澤(篠ノ井西部):080-1188-5229/外谷(篠ノ井東部・松代):080-8048-6602

福田(若穂):282-2002/佐藤(川中島):090-7179-9866

丸山(更北・松代):080-1202-0260/根津(信更):080-1203-8576

松坂(全域・編集担当):080-1188-4131/営農部(本所):292-0930

《販売に関する問合せ》各流通センター・共選所/生産販売部(本所):292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済課/農業資材課:299-3311